

- ・小学校学習指導要領
- ・福井県教育振興基本計画
- ・越前市教育振興ビジョン
- ・越前市小中学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画



【校訓】 生命かがやく子 ~自ら学び 心豊かで 健康な子~

《学校教育目標》  
温かい人間関係を生かした活気ある学校づくり  
~安全・安心・安定の学校づくり~



【児童像】	【教師像】	【学校像】
① すすんで学ぶ子	① 学ぶ楽しさを伝えることができる教師	① 学ぶ喜びが味わえる楽しい学校
② なかよく助け合う子	② 児童一人一人を大切にできる教師	② 豊かな心が育つ美しい学校
③ 心と体を大切にする子	③ 真気で人と接することができる教師	③ 生命を尊び健康で安全な明るい学校

【重点目標】

《A 確かな学び》  
◎心理的安全性の高い学習集団づくり  
◎対話を通して学びを深める授業づくり  
○読書習慣の育成

《B 温かい人間関係》  
◎居心地のよい学校・学級づくり  
◎違いを認め支え合う集団の育成  
○児童がやりがいを感じる活動の設定

《C 豊かな心と健やかな体》  
○特別支援教育の推進  
○運動好きな子の育成  
◎健康な生活リズム・食生活の定着  
○安全・防災教育の充実

《D 信頼される学校》  
◎家庭と共に児童を支える学校  
○地域の教育力を活かす学校  
○積極的な情報発信

【具体的取組】

- 福井県版ポジティブ教育を推進し、児童が安心して自分の考えを表現できる学習集団を育成する。
- 対話に関するルールやスキルの定着や思考の可視化を図ることで、児童が考えを広げ深める授業をめざす。
- 学年主任を中心に、学級経営力を高めるためのOJT研修を週1回以上、授業力を高める研修を学期に2回以上実施する。
- 読書への意欲が高まるよう、読書環境を整える。朝読書や読み聞かせ活動、児童会活動などを活用し、児童の読書満足度を8割以上にする。

- 道徳教育の推進や教育相談体制の充実等により、児童が安心できる居場所づくりを推進することにより、いじめ・不登校の未然防止に努める。
- 多文化共生教育や人権教育の充実を通して、言葉や文化の違いを超えて、一人一人の個性を認め合い、絆を深める集団づくりに取り組み、児童の学級満足度を9割以上にする。
- 児童が主体となって計画から運営まで行う活動を、学級・学年等で年3回以上実施し、振り返りを充実させることで児童に達成感や連帯感を味わわせる。

- 興味・関心を大切にしながら特性とニーズに応じた支援を行い、心の安定やリラックスを図ることで、児童の自己肯定感を育む。
- 体育学習や休み時間の活動を工夫し、運動や体を動かす遊びに意欲を持つ児童の割合を8割以上にする。
- 家庭と連携した健康教育を推進し、基本的な生活習慣（早寝早起き朝ご飯・睡眠時間の確保）を8割以上の児童に確立する。メディアの健全・安全な利用について、親子で考える機会を積極的に設ける。
- 命の尊さを学ぶ機会を充実させ、身近に起きる事故・犯罪・災害・病気から自分を守るようにする。

- 家庭と学校が相互の教育について理解を深めるため、積極かつ丁寧に連絡を取るなど連携・協力を図りながら児童の育成に取り組む。
- 地域の教育資源を活用し、地域と連携した特色ある活動を通して、ふるさとに対する誇りと愛情、地域の方々への感謝の気持ちなどを育てる。
- ホームページやHome&School等を活用して積極的な情報発信に努める。ホームページの更新を週に3回以上行い、保護者の満足度を9割以上にする。

【業務改善のための取組】

- ◎業務改善プロジェクトチームによる取組の提案・実践・検証。
- ◎繁忙期の校務や職員研修のための時間の物理的確保。

本年度の研究テーマ 『自分の考えを伝え合い、対話を通して学びを深める授業の創造』